

平成28年度 学力向上推進プラン 2年

		学年の目標	2学期末の児童の様子	3学期の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な構成を考えて、文章を書くことができるよう、主語・述語の関係が成り立っている文を書くこと、既習の漢字を使って書くことを重点的に指導します。日記は週に1回実施します。</li> <li>・漢字の定着を図るために、ミニテストを実施し、学期末には、漢字ドリルの小テストをすべて100点合格できるように繰り返し行います。学年末テストで90点以上を合格として、9割の児童が合格できることを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回日記を実施しました。既習の漢字を使うことを苦手としています。</li> <li>・9割の児童が漢字小テストをすべて100点合格しました。学年末テストで90点以上獲得できた児童は7割です。不合格であった児童は、放課後に習熟を図りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な構成を考えて、文章を書くことができる児童が増えています。まだまだ、既習の漢字を使って書くことを苦手としています。</li> <li>・どの児童も意欲的に取り組み、定着しつつあります。一度覚えた漢字も間違えてしまう場合があるので、繰り返し練習を行い確実な定着を図っています。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九九を全員が確実に唱えられるように、上り10秒以内に唱えるテストを全員が合格するまで行います。最終的には、全員が九九を1分30秒以内に唱えることを目指します。</li> <li>・東京ベーシックドリルを活用して、1年生までの基礎的な学習内容の習得を目指します。9割の児童が80点以上獲得できるようにします。できなかった児童には、個別に補習を行って習熟を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9割の児童が10秒以内に唱えることができます。1分30秒以内に唱えられる児童は、5割なので3学期中に全員が唱えられるようにします。1分30秒以内に唱えられる児童は、さらに速く唱えられることを目指します。</li> <li>・7割の児童が得点を伸ばしたが、80点以上獲得できた児童は、6割である。ケアレスミスで得点を落としている児童も多いので、決められた時間内に問題を解くなど集中力を身に付けさせたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が10秒以内になえることができます。1分30秒以内に7割の児童が唱えられます。3割の児童を個別に指導し唱えられるようにしています。</li> <li>・時間を決めて問題に取り組んだり、朝学習などで復習問題に繰り返し取り組むことで定着しつつあります。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分以上集中して読書が続けることができるようになります。そのために子どもたちにあった本や、教科と関連した本、文章量が多くても子どもたちにとって読みやすい本などを定期的に紹介して、読書の楽しさを味わわせることを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分以上集中して読書ができる児童が8割です。図鑑などを眺めているだけの児童がいるので、引き続き文章量が多くても子どもたちにとって読みやすい本などを定期的に紹介して、読書の楽しさを味わわせることを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分以上集中して読書ができる児童が9割以上です。文章量が多い本を読むことができる児童も増えました。</li> </ul>
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの課題を深く、追求していく学習方法が身に付けられるよう、めあてをもち、ふり返るという活動を継続的に行います。</li> <li>・自分の考えをもち、友達の意見を聞いて、考えを深めることができるようになります。そのために自分の考えをもたせてから話し合いを行うようにします。また、友達の意見を聞いて考えが変わったり、友達の意見に付け加えて話している児童を称賛し、児童がお互いに学び合う力が身に付くようになります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始めにめあてを確認し、終わりに振り返ることで達成感を味わうことができます。振り返りが本時のみにとどまっているので、さらに追及したいことがもてるような声掛けを継続的に行います。</li> <li>・5割の児童が自分の考えをもってから話し合うことができます。6割の児童が友達の意見を聞いて考えを深めることができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始めにめあてを確認し、終わりに振り返ることで達成感を味わうことができます。振り返りが本時のみにとどまっているので、さらに追及したいことがもてるような声掛けを継続的に行っています。</li> <li>・8割の児童が自分の考えをもつことができます。伝えることを苦手としている児童もいます。</li> </ul>	

<p style="text-align: center;">学 習 規 律 ・ 学 習 習 慣</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の授業の準備の習慣化を目指します。できている児童をほめたり、グループで声をかけあったりさせることで100%の定着を図ります。</li> <li>・授業が始まってから、短時間で集中できるようにするために、毎時間、学習のめあてをノートに書かせ、声に出して読むことを習慣化します。</li> <li>・話すこと・聞くことの大切さを意識させるために、聞いている人の方を向いて話すこと、相手の話を受けて話すこと、話している人の方を向いて聞くことを指導します。</li> <li>・連絡帳を見て翌日の準備ができるよう声を掛けます。</li> <li>・宿題の提出率100%を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8割の児童が次時の授業の準備が習慣化しています。引き続き声をかけ、100%の定着を図ります。</li> <li>・毎時間、学習のめあてをノートに書かせ、声に出して読むことを習慣化することで、8割の児童が短時間で集中することができます。2割の児童は、授業の準備が習慣化していない児童ほとんど同じです。準備の習慣を図ることで授業にも集中しやすくなるので、まず。準備の習慣化を徹底します。</li> <li>・引き続き指導を行います。</li> <li>・連絡帳を見ておらず翌日の特別な持ち物などの準備ができていない児童がいます。</li> <li>・宿題の提出率が90%です。引き続き、提出の確認を行い、提出率100%を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8割の児童は、習慣化しています。授業の準備が整っていないと学習の流れにも乗れないので、2割の児童には、授業が終わったらすぐ準備することを引き続き伝えます。</li> <li>・9割の児童が短時間で集中することができます。</li> <li>・6割の児童が、聞いている人の方を向いて話すこと、相手の話を受けて話すこと、話している人の方を向いて聞くことができます。その他の児童は、声を掛け続けることで習慣化できるように指導を続けています。</li> <li>・8割の児童が連絡帳を見て準備ができています。</li> <li>・宿題の提出率が90%です。引き続き、提出の確認を行い、提出率100%を目指します。</li> </ul>
--	--	---	---